

## 東近江市中心市街地活性化協議会 第4回協議会 会議録

■開催日時：平成28年11月7日（木）14:00～15:40

■場 所：八日市商工会議所 4階大ホール

■出席者：委員19名（うち2名代理出席）

### 1 開会挨拶

会 長：当協議会も4回目となった。過去3回にわたってご審議いただいた中心市街地活性化基本計画案を今回でおおよそまとめ、次回は市長に意見書を提出したい。慎重な審議をお願いする。

### 2 議事

#### (1) 第3回東近江市中心市街地活性化協議会会議録について

事務局：（資料1「第3回東近江市中心市街地活性化協議会会議録（案）」の説明）

会 長：意見があれば何う。

全委員：（特に意見等なく了承）

#### (2) 東近江市中心市街地活性化基本計画（案）について

事務局：（資料2「東近江市中心市街地活性化基本計画（案）」の説明）

会 長：国から視察が来る予定があると聞いているので、その説明もお願いする。

事務局：（11/24 予定の内閣府による現地視察について説明）

会 長：それでは意見交換に移る。本日は、基本計画案を国に提出するに当たって意見聴取を行う最終の会議としたい。これまでの協議において出された意見が十分反映されているかについてもご確認いただきたい。ご意見を伺っても必ず反映されるわけではないという前置きであったが、事務局で、大分反映していただいている。全般にわたって、ご意見を伺いたい。

委 員：65ページの計画期間と目標指標の記述の中で、目標3は平成34年までに15店舗を出すがあるが、全体の底上げ、全事業者が対象ということで、開店閉店を含めて、飲食店や小売等、それぞれ何店舗かを年度別に示す必要がある。他市と比べて駅前に居酒屋など若者が集う場所が少ない印象。都市部のチェーン店を含めて若者でにぎわうようなまちを形成すべきだと考える。

会 長：案が承認されれば具体的な計画を立てる。ちなみに今度の視察で15店舗の根拠を聞かれるわけではないのか。

事務局：空き店舗の現地案内は行う予定である。候補となる場所として、現地調査でもあった利用可能店舗を考えている。まちづくり公社の調査で「店舗に“テナント募集”などの看板が設置されているなど、目視で店舗として活用する意思を確認できる空店舗が24軒ある。このうち、公社で空き店舗活用を考えていきたいと思っている物件を紹介し、例えば、飲食店として活用する、経済産業省の補助金を使うなど具体的な話をして、15店舗の根拠を示す予定である。

会 長：空き店舗について、時系列に基づいた計画はまだ立てられていないが、一応の候補となる空き店舗はあるということか。

事務局：候補物件があるので、現地視察の時は「ここを」と案内する予定である。

委 員：106ページからの「経済活力の向上のための事業」に、商業活性化事業、八日市聖徳まつり等が挙がっているが、二五八祭、農林水産まつり等は挙がっていない。81ページでは、一つにくくって個別の祭りを挙げていないが、東近江秋まつりぐらいは挙げてはどうか。

- 事務局 : 81 ページは中心市街地活性化ソフト事業ということで、総務省の補助対象に基づいて挙げている。市が100万円以上を負担している事業に対して交付税措置を取る制度である。市で取り組む東近江秋まつりや開市記念祭は、商業活性化事業という事業名で予算上の科目としているため、このような表記となったが、「東近江秋まつり(商業活性化事業)」というふうに個別に表記するよう工夫する。
- 委員 : 中心市街地地域だけで、これだけ多くの事業があり、いろいろな主体者があって、すごいことだと思う。中でも、まちづくり公社の役割が大きくなると考えられる。一方で、事業の統合、融合をした方が効果的なものもあると思う。現状分析を行うことが重要である。59 ページに基本理念達成のための基本方針が三つある中、基本方針2にネットワーク化という言葉があるが、60 ページ以降には出てこない。中心市街地のまちづくりにおけるネットワーク化のありようや効用について示しておくべきではないか。中心市街地の活性化があって東近江市全体が活性化していくということだと思うが、中心市街地におけるネットワーク化と、もっと大きな意味でのネットワーク化について考えを伺いたい。
- 会長 : ネットワーク化の概念について説明願う。
- 事務局 : 59 ページの図に示す、八日市駅周辺、市役所周辺の行政ニュータウン、文芸会館や南小学校跡地等の公共施設周辺の大きな3点に加え、新八日市駅という、それぞれの拠点を結び回遊性を高めることが、ネットワーク化という意味である。公共交通の事業では、循環バスの実証が挙げられている。外から中心に来ていただくという意味で、途中で降りられる駐車場、そこから歩くための整備を進めることもネットワーク化事業として考えている。
- 会長 : 地理的、役割的なネットワークがあり、それぞれの取り組み方がある。図に示すように、3拠点のネットワークと、市街地から愛東、湖東、能登川、五個荘、蒲生、永源寺へと広がるネットワークがある。
- 委員 : 回遊性のための施策として公共交通事業、駐車場などがあるが、中心市街地のネットワーク化について、情報という言葉が少ない。中心市街地は物理的な中心であると同時に情報の中心でもあり、情報の発信や受信、ネットワーク化を進めることが必要ではないか。情報のネットワーク化も、SNSをはじめ、既存のFM放送等、いろいろな仕組みを生かして取り組んでほしい。観光協会では、場所がにぎわうよりも情報でにぎわうという話もまた今風で面白いのかなという議論がある。
- 事務局 : 市でも情報は重要視しており、フェイスブックページを立ち上げ、情報を発信している。八日市駅前活性化事業では、駅前の未利用地に物産販売、観光案内とともに情報発信の拠点施設を整備し、ここへ来れば東近江のことが分かるようにし、また、集まっていただくことにより情報を集める機能も持たせたいと考えている。
- 委員 : 地域おこし協力隊事業で、ヴォーリス建築の旧住井歯科の建物に革細工店ができ、最近、女性二人の手づくりのアパレルとアクセサリーの店が加わった。2階の診察室跡が革細工店、待合室跡が女性二人の店になっている。最近新たな隊員の面接をしたが折り合いがつかなかった。
- ネットワーク化について、八日市駅周辺、行政ニュータウン、公共施設周辺を結ぶものは、やはり循環バスの運行が必要だと思う。現在は、湖東記念病院、東近江総合医療センター等の病院に行くための便宜を図るかたちでのみ進められているように感じる。以前から、もっと、まちなかを結ぶラインで運行してはどうかと話をさせてもらっており、幾通りかのルートも提案している。駐車場問題の改善やパーク・アンド・ライドの推進につながる要素があるので、循環バスの検討は、ぜひ加えていただきたい。
- 会長 : 具体的な取り組みの参考になるご意見であったが、事務局から何かあるか。
- 事務局 : バスのまちなか周回コースの検討は来年度に進めたい。今年度に行った交通量調査など、官民協働の効果的なインフラ整備のための調査事業も踏まえて検討する。

- 会 長 : これまでの協議を踏まえて、意見があれば伺いたい。
- 委 員 : アピアとしても、中心市街地活性化への具体的な対応は必然になりつつある。中心市街地活性化基本計画を活用して、盛り込まれた内容を進めていきたいと考えている。
- 委 員 : 認定と連携した特例措置に関連する事業として、施設の再整備事業計画を掲載していただき、アル・プラザとして言うことはないが、24日の内閣府視察、30日に協議会があるということで、修正せざるを得ないということが起こらないか心配ではある。
- 事務局 : 視察の結果、修正の指示が出ることはあり得るが、現時点で計画が認められないといった大きな変更はないと考えている。視察の案内は当然できる限りわれわれで行うが、視察のルート等はまたご相談させていただきたい。
- 委員(代理) : 基本計画案には、どこに、どういうふう誘客するのかという具体的な内容がほとんどなく、本当に活性化するのだろうかという感じを受ける。
- 事務局 : 集客するのは、それぞれの商店街や店舗、事業者の皆さんであり、行政は、その一助となる計画をつくることで国からの支援を得る。それぞれの事業者で集客力を高めていただくことでまち全体の活性化につなげたいと考えている。
- 会 長 : ばらばらでは成果を得にくいので努力していく一つの方向を定め、なおかつ、計画を定めることによって補助金等を得るという話であると思う。
- 委員(代理) : 事業者がプレーヤーだということだが、今後も、こういうかたちとは別に、コミュニケーションの場を設ければと思う。また違った意見が出たり、深い議論ができたりすることを期待する。本当に、まちを活性化しようというのであれば続けて検討すべきではないかと考える。
- 委 員 : アピアが中心市街地の基幹店舗ということで、堤委員、加藤委員からあったように、中心市街地の活性化に協力できる体制づくりを行っている。何とか東近江市の活性化を図るために一生懸命努力していく。進捗具合に合わせて具体的な提案も含めた協力したい。
- 委 員 : 素晴らしい計画が出来上がり、今後、実施に向けて動いていくと思うが、その中心的な役割は、まちづくり公社になるのか。
- 会 長 : 事業主体は、いろいろあてはまるものと考ええる。
- 委 員 : その中で、それぞれの主体をつなぐネットワーク構築が必要となる。  
まちづくり協議会では、12月にまち歩きを行う。数年前には、八日市にお住まいの皆さんに歩いていただき、それを基に、まちづくり計画を作成した。今回は、市域外の若い方々をターゲットに募集する予定である。  
八日市まちづくり協議会に市の地域担当職員4名の若い職員が自主的に歩いて、われわれ地域住民とは違う観点で八日市のまちの面白さを見つけてもらった。2名は地区外の方が、長屋が連なっているまちなみや金屋地区の90センチ幅の舗装されていない道路は珍しい、延命公園のサルのおりの外にも野生のサルがいて面白い、SNSで発信したら若い人がいっぱい来るのではないかとというような意見をもらった。そういう情報を提供する窓口は市でよいか。まちづくり公社か。
- 事務局 : まちづくり公社はコーディネーター役になっていくと考えるので、当社のホームページやフェイスブックを情報発信の場として活用いただければと思う。
- 委 員 : 地域おこし協力隊事業は、商店街の空き店舗を埋め活性化するという基本方針を進めるための事業であると総論的な意味では理解するが、目標店舗数を年度別に設定し、進捗を確認しながら進めなければ、34年度の時点でまったく達成できなかったということになりかねない。具体的に詰めていくことが大事であることを要望として申し上げる。
- 会 長 : 本日のご意見を計画書に反映させ、意見書案をまとめて、次回会議で事務局から示してもらおう予定であるが、文章の修正やデータの追加等、微細な変更については会長に一任いただけるとありがたいが、異議はないか。

全委員 : (異議なく了承)  
会 長 : それでは、微細な変更については事務局と調整する。今後も、お気づきの点があれば事務局に問い合わせさせていただきたい。

### 3 その他

#### (1) 視察研修の計画について

事務局 : (視察研修計画案について説明)

会 長 : なるべく多くの委員に参加いただけるよう、よろしく願います。

#### (2) 「中心市街地活性化基本計画(案)に対する意見書」について

事務局 : (意見書について説明)

#### (3) 次回以降の予定について

事務局 : 次回は、11/30(水)午前10時から12時、東近江市役所で開催する。

その際に意見書の案を示させていただき、意見をいただく。意見書については、協議会の時間内に作り上げて市長に提出する予定である。

会 長 : 最後に、残りお二人の委員からも意見を伺う。

委 員 : 会議に参加させていただき、皆さんの意見を伺う中で、まずは、駅の周りがにぎやかになり、いろいろなところから人が集まり、八日市がにぎやかなまちになってほしいと思う。

委 員 : 計画を取りまとめていただき感謝する。今、商工会議所でアドバイザー派遣の計画書をつくり、来年、商店街や企業者へアドバイザー支援をする予定があるが、こういったことも十分に計画に載せたかった。新しいことをやっていこうというところでは十分に織り込まれていると思うが、既存の事業の中からも、商店街や商店主さんへの支援を合わせて行わなければ今後の活性化につながらない。市としても協議しながら進めたい。

### 4 閉会

会 長 : これをもって閉会とする。

(終了)